

病児・病後児保育に係る アンケート 集計結果

一般社団法人 京都府医師会

1

- 調査時期：8月23日(金)に各医療機関に発送→9月6日(金)締切
- 調査対象：「平成30年度子育て支援等に関する取り組み状況調査」にて院内保育または病児・病後児保育を実施していると、回答した医療機関(76件)
- 返答率：63件/76件 = 82.9%(10月11日(金)時点)
(小数点第2以下四捨五入)

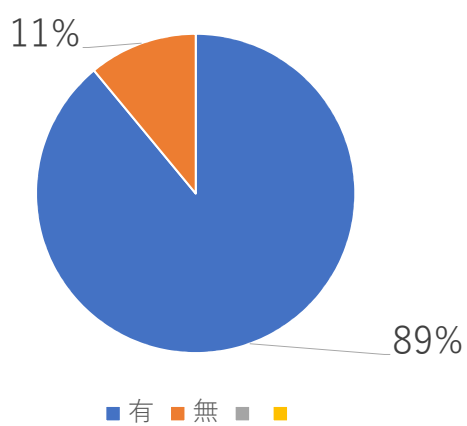
2

1. 院内保育所について

3

(1)院内保育所の有無

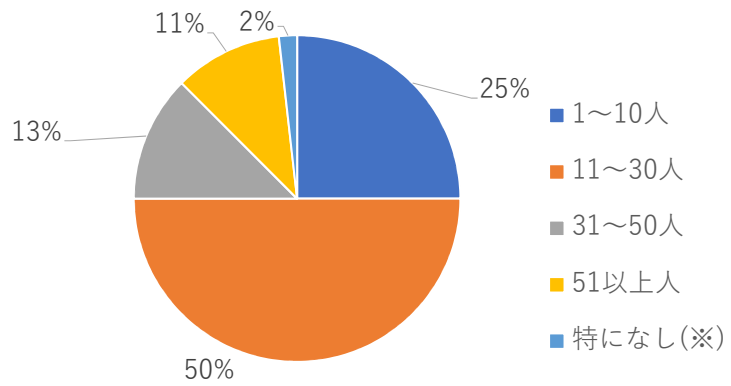
回答	件数	割合
有	56	89%
無	7	11%
計	63	100%



4

(2) 院内保育所の定員数

回答(単位：人)	件数	割合
1～10	14	25%
11～30	28	50%
31～50	7	13%
51以上	6	11%
特になし(※)	1	2%
計	56	100%



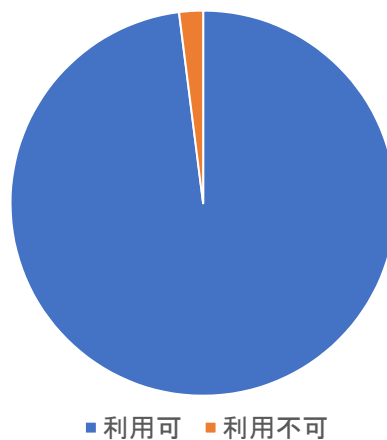
※個室が二つあり、病状によって定員数を考慮しているとの事

平均定員数 (小数点以下 切り捨て)	25人
--------------------------	-----

5

(3) 院内保育 医師の利用の可・不可

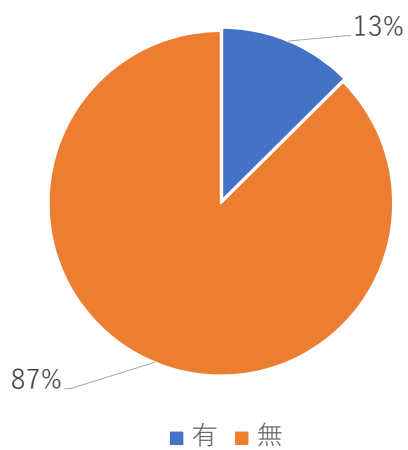
回答	件数	割合
可	55	98%
不可	1	2%
計	56	100%



6

(4)院内保育所 入園待ちの有無

回答	件数	割合
有	7	13%
無	49	87%
計	56	100%



7

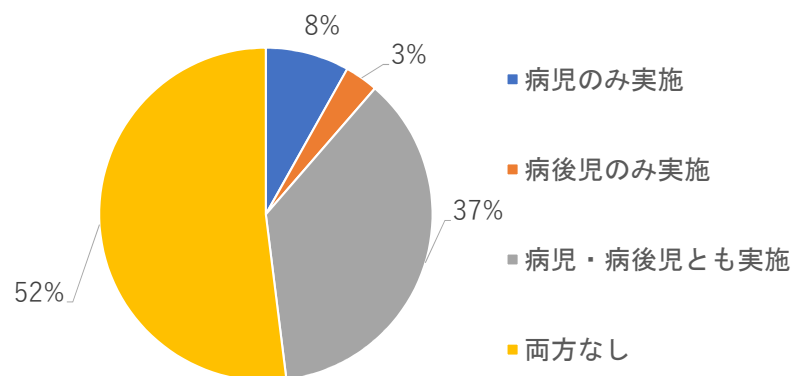
8

2. 病児・病後児保育について

9

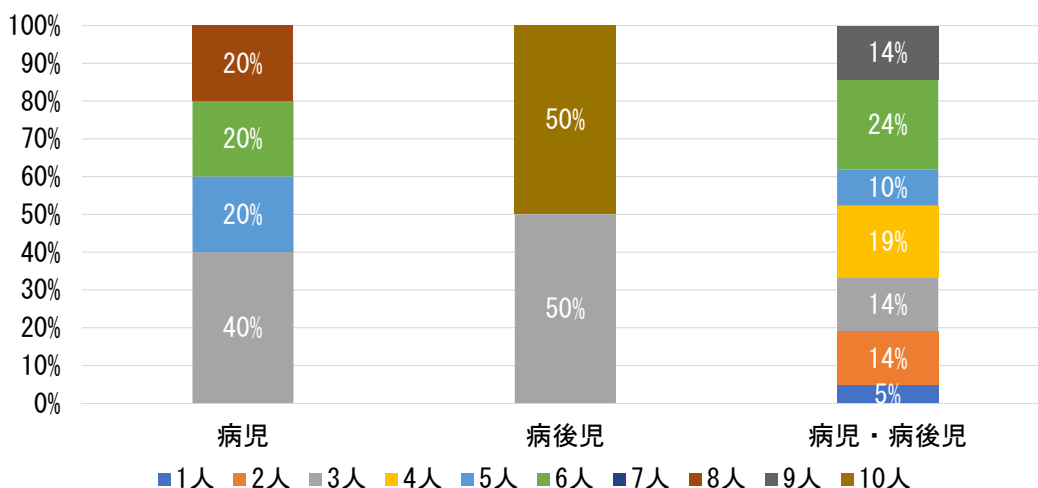
(1) 病児・病後児保育の有無

回答	件数	割合
病児のみ実施	5	8%
病後児のみ実施	2	3%
病児・病後児とも実施	23	37%
両方なし	32	52%
計	58	100%



10

(2)病児・病後児保育の定員数



11

回答 (単位：人)	件数	割合
1	0	0%
2	0	0%
3	2	40%
4	0	0%
5	1	20%
6	1	20%
7	0	0%
8	1	20%
9	0	0%
10	0	0%
計	5	100%

平均定員数 (小数点 以下切り捨て)	3人
--------------------------	----

回答 (単位：人)	件数	割合
1	0	0%
2	0	0%
3	1	50%
4	0	0%
5	0	0%
6	0	0%
7	0	0%
8	0	0%
9	0	0%
10	1	50%
計	2	100%

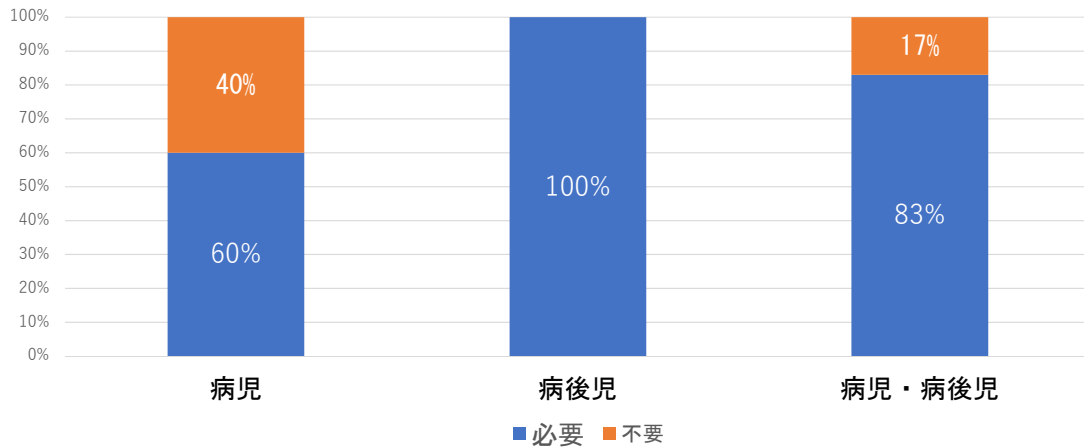
平均定員数 (小数点 以下切り捨て)	3人
--------------------------	----

回答 (単位：人)	件数	割合
1	1	5%
2	3	14%
3	3	14%
4	4	19%
5	2	10%
6	5	24%
7	0	0%
8	0	0%
9	3	14%
10	0	0%
計	21	100%

平均 (小数点 以下切り捨て)	4人
-----------------------	----

12

(3)病児・病後児保育の予約について



13

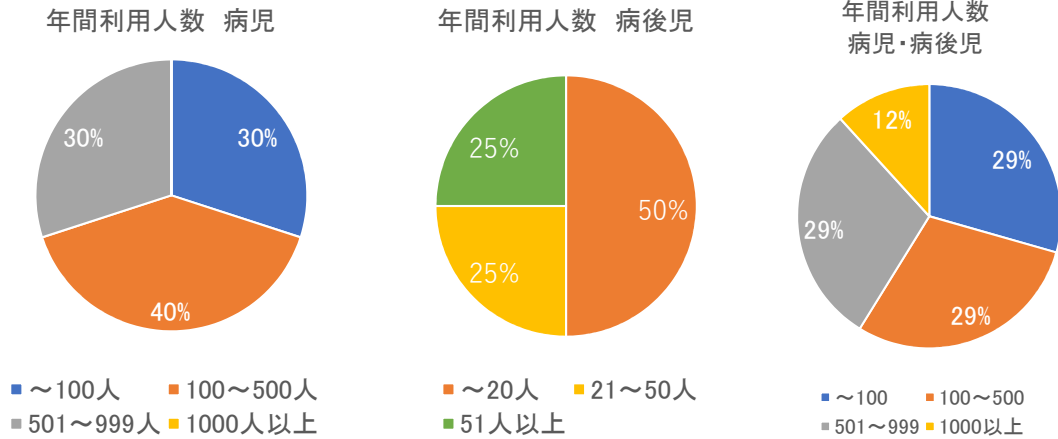
回答	件数	割合
必要	3	60%
不要	2	40%
計	5	100%

回答	件数	割合
必要	2	100%
不要	0	0%
計	2	100%

回答	件数	割合
必要	19	83%
不要	4	17%
計	23	100%

14

(4)病児・病後児保育 おおよその年間利用人数



15

年間の利用人数 病児			年間の利用人数 病後児			年間の利用人数 病児・病後児		
回答 (単位:人)	件数	割合	回答 (単位:人)	件数	割合	回答 (単位:人)	件数	割合
~100	3	30%	~20	4	50%	~100	5	29%
100~500	4	40%	21~50	2	25%	100~500	5	29%
501~999	3	30%	51以上	2	25%	501~999	5	29%
1000以上	0	0%	計	8	100%	1000以上	2	12%
計	8	100%				計	17	100%
平均 年間の利用人数		332人	平均 年間の利用人数		22人	平均 年間の利用人数		475人

16

(5)病児・病後児保育 医師の利用の可・不可

回答	件数
可	5
不可	0
計	5

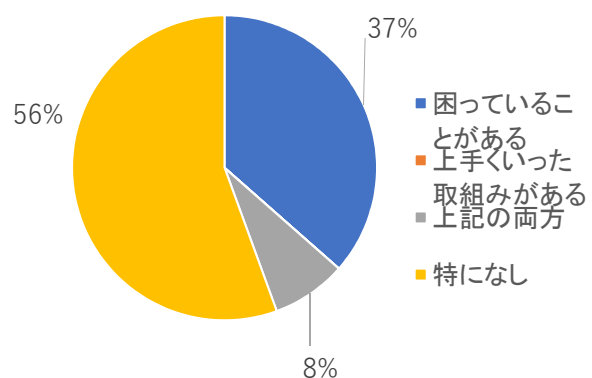
回答	件数
可	3
不可	0
計	3

回答	件数
可	21
不可	1
計	22

17

3. 取り組みについて

回答	件数	割合
困っていることがある	23	37%
上手くいった取り組みがある	0	0%
上記の両方	5	8%
特になし	35	56%
計	63	100%



18

3-1. 「困っていること」で多かった回答

- 保育士不足、人材不足
- 利用者数が日によってばらつきがあり、安定した運営が難しい。
- 当日のキャンセルへの対応(職員が余るなど)

19

3-2. 上手くいっていること

- 柔軟な対応をすることで、職員の定着・確保に繋がっている。
- 他部署と連携し、急な勤務変更などに対応し、受入れしている。
- 開始時間を早めたり、病気の制限を緩めたりしたことで、利用者がふえた。
- 当院小児科を必ず受診することで預かれる子どもを小児科で決定できる。
- 病児保育利用者に費用サポートをしている。
- 予約当日の10時までにご連絡が無い場合、キャンセル料500円をいただくように4月より変更：連絡なしのキャンセル減少には繋がった。

20

4. ご意見・ご要望

- 同じ地域の複数の企業、または行政と企業が共同で病児保育を設置・運営できるしくみがあれば、一企業だけで設置・運営するより負担が軽いのではないか。
- 病児保育については、行政の問題が大きいと思っている。
- 病児保育の取組みを行っていることを広く知ってもらえるようにしてほしい。困っておられる方、1人でもお役に立てればと思います。